

## 令和7年度 全国獣医師会会長会議の開催

令和7年度 全国獣医師会会長会議が令和7年11月14日、明治記念館・2階「鳳凰」において開催された。本会議では、①令和7年度動物愛護週間中央行事及び2025動物感謝デーin JAPAN “World Veterinary Day”に関する件、②狂犬病予防法に基づく自治体事務のDX化等に関する件、③AIPO登録事業等に関する件、④世界獣医師会大会(WVAC)の日本開催に関する件、⑤第43回 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和7年度)に関する件、⑥日本獣医師会雑誌の電子化に関する件、⑦農場管理認定獣医師認定試験に関する件、⑧特別委員会及び部会委員会に関する件等について説明・報告・協議が行われた。議事概要は下記のとおりである。

### 令和7年度 全国獣医師会会長会議の議事概要

I 日 時：令和7年11月14日(金) 14:00～16:30

II 場 所：明治記念館・2階「鳳凰」

III 出席者：

【地方獣医師会】 全国55地方獣医師会

【会 長】 藏内勇夫

【副 会 長】 鳥海 弘, 西山治生, 栗本まさ子

【専務理事】 伏見啓二

【理 事】 田村 豊, 小山田富弥, 宇佐美 晃,  
上野弘道, 佐藤 博, 長谷川哲也,  
安食政幸, 草場治雄, 佐藤れえ子,  
立川文雄, 森 尚志, 吉武 朗,  
梅田浩史, 佐伯 潤, 石橋朋子

【監 事】 市川陽一郎, 佐々木一弥, 柴山隆史

【顧 問】 砂原和文, 村中志朗

【欠 席】 篠原公七, 鳥村 剛, 酒井健夫

IV 議 事

#### 【説明・報告事項】

- 1 令和7年度 動物愛護週間中央行事及び2025動物感謝デーin JAPAN “World Veterinary Day”に関する件
- 2 狂犬病予防法に基づく自治体事務のDX化等に関する件
- 3 AIPO登録事業等に関する件
- 4 世界獣医師会大会(WVAC)の日本開催に関する件
- 5 第43回 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和7年度)に関する件
- 6 日本獣医師会雑誌の電子化に関する件
- 7 農場管理認定獣医師認定試験に関する件
- 8 特別委員会及び部会委員会に関する件
- 9 その他

#### 【連絡事項】

- 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件
- 2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

### V 会議概要

#### 【会長挨拶】

本日は、令和7年度全国獣医師会会長会議に、大変お忙しい中にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、地方獣医師会の会長及びに関係者の方々には、平素より日本獣医師会の運営に深いご理解とご協力を賜り、日本獣医師会を代表して心から厚くお礼を申し上げます。

さて、私は6月24日に開催されました日本獣医師会第82回通常総会において会長に選任されました。役員も改選され、新たな執行部体制となりました。改めまして、新たな任期を獣医師会のさらなる発展のため、鋭意取り組んでまいる決意です。

なお、本日、後ほど副会長として長きにわたり尽力をいただきました砂原顧問、理事として関係職域の課題に取り組まれた横尾先生、加地先生に、感謝状を贈呈させていただきます。

8月末から10月末まで開催されました全国8地域での獣医師大会地区学会につきましては、私のほか副会長、専務理事、顧問が分担して出席させていただきましたが、大変な歓待を受けるとともに、地方獣医師会や会員構成獣医師の皆さんの生のご意見を直接お伺いするこ



挨拶する藏内会長

とができ、改めてお礼を申し上げる次第です。特に交流会の席等でないとなかなかお聞きできないような話もお聞かせいただき、皆さまと有意義な意見交換を行うことができました。

また、ご案内のとおり、来年4月21日から24日までの間、東京国際フォーラムにおいて、第41回世界獣医師会大会を開催いたします。7月にはアメリカ、ワシントンで開催されました第40回世界獣医師会大会にも出席し、広く本大会の周知をしたところです。同大会の閉会式には東京都の小池知事も出席をいただき、東京都が誘致した大会において、ワンヘルスの理念の下、動物と人とが調和して共生できる世界の実現に向けた取組みを推進する旨の力強いご挨拶をいただきました。

東京大会では会員構成獣医師にも満足いただけるよう、先進的かつ充実したプログラムを準備いたしておりますので、ご臨席の皆さま方におかれましては国境を越えたワンヘルス実践活動のさらなる推進が図られるよう、特段のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本大会では多くの会員獣医師の方にご参加いただけるよう、登録料の団体割引の設定をいたしました。10名で50%割引、さらに20名を超える際は端数を含め団体割引の対象といたしておりますので、早割と併せて活用いただき、一人でも多くの会員獣医師に参加いただくことで、わが国の獣医師の団結力を世界に示し、大会を盛り上げていただきたいと思っております。

今日、私は公務が重なりまして、途中で退席を許していただきたいと思っております。すでに総会等々で皆さま方にご報告いたしました。二度目の福岡県の県議会議長に就任をいたしました。それをもって全国47都道府県議会の会長会の会長に就任をいたしました。この立場は法律で定められており、地方の声を官邸に届けるという役割がございまして、実はその仕事は今日、午後4時から全国知事会と協議をし、その後、官邸に出向きまして、地方の声を届けるということになりますが、大変ありがたいことに、先般行われました47都道府県議会議長会で、ワンヘルスの推進と獣医師の処遇改善、産業動物獣医師の確保等が特別に議決いただきました。このことも含めて、官邸で総理に直接お願いをする予定でおりますので、このような機会を利用して、本会が抱える課題、地方会が抱える課題を解決に結びつけていきたいと思っております。

なお、この会長会議の後には懇親会も準備をさせていただいておりますので、なるべく早く官邸を切り上げて懇親会に参加をしたいと思っておりますので、ぜひ会長の先生方にはよろしくお願いをしたいと思います。

また、明日は動物感謝デーを開催いたします。会場は上野恩賜公園ということでございまして、昨年同様、動物愛護週間の中央行事と同時開催ということになりま



常設議長に任命された  
中島克元神戸市獣医師会  
会長



常設副議長に任命された  
浦山良雄福島県獣医師会  
会長

す。恐らく天気も今日のようにいい天気が予測されますので、皆さまお揃いの上ご出席いただきますように重ねてお願いを申し上げます。

#### 【議長・副議長任命】

定款施行細則第16条に基づき、藏内会長が、常設議長に中島克元神戸市獣医師会会長を、常設副議長に浦山良雄福島県獣医師会会長を任命した。

#### 【議長・副議長挨拶】

中島克元常設議長、浦山良雄常設副議長から次のとおり挨拶された。

#### 〔中島議長挨拶〕

神戸の中島でございます。私は2007年に神戸市獣医師会の会長になりまして、丸18年、会長の職務に携わっております。さかのぼれば平成5年に神戸市獣医師会の理事、獣医事問題担当理事を含め30年近く今役員を務めてまいりました。このたびは藏内会長のご指名ですので謹んでお受けいたします。

#### 〔浦山副議長挨拶〕

福島県獣医師会の浦山でございます。  
中島議長を補佐していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

#### 【議 事】

#### 〔説明・報告事項〕

1 令和7年度 動物愛護週間中央行事及び2025動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき令和7年度 動物愛

護週間中央行事及び2025動物感謝デーin JAPAN “World Veterinary Day”の開催について説明された。

今年度においても、開会式には多数の大臣や国会議員にご臨席いただくこと、観客席に入る際に警備上の観点から金属探知機や手荷物検査等がある旨説明された。

## 2 狂犬病予防法に基づく自治体事務のDX化等に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき以下が説明された。

政府の規制改革推進委員会に対し、神戸市を中心とする自治体から、マイクロチップの登録と同時に狂犬病予防法に基づく犬の登録ができ、手数料も同時に徴収できるようにしてほしい旨要請する提案に対し、昨年の12月に登録と手数料の徴収を同時に実現することを求める閣議決定がなされた。日本獣医師会では独自に犬の登録支援システムを構築し、現在、各地方会の会長はじめ役員の方、あるいは会員の皆さまから自治体にご活用いただけるよう働きかけを続けている。

狂犬病予防接種については、現在接種率が7割を切ろうとしている。この数字はペットフード協会による推計値を分母としており、年間の狂犬病ワクチン製造数の450～460万頭分とは約200万頭の差があり、未接種犬がそれだけいる可能性があることを示している。

政府にとっても閣議決定は非常に重く、関係省連名で8月21日に通知文書を出している。そこには本会が構築した『犬の登録支援システム』が、『情報連携機能』『登録頭数に応じた手数料制』『導入費用ゼロ』などの特徴を持つ民間システム』として紹介されている。

地方獣医師会で自治体担当者に説明するにあたり、必要があれば、本会の担当が実際に一緒に説明するのでよろしく願いたい。

犬の登録システムの、犬の登録と登録手数料の支払いへの対応を仮にフェーズ1とすると、狂犬病予防注射にあたり、飼い主さんに注射時期の案内をしたり、注射済みであることをシステム上で登録したりできる仕組みをフェーズ2として、現在開発を進めている。

現在のところ、数多くの問合せはいただいているが犬の登録システムを導入することを決定した地方自治体はない。引き続き皆さまと一緒に頑張りたい。

## 3 AIPO登録事業等に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき以下が説明された。

長年取り組んでいる民間によるマイクロチップ登録であるAIPOは、法定登録にその役割が移りつつある中でバックアップサーバーが更新時期を迎えている。飼い主へのサービスは維持しつつコストを削減するためバックアップサーバーを10月に撤廃し、データを別管理することとした。

今後、法定登録とAIPOのデータ統合に向けて環境省との調整を進める一方、AIPOについては、構成団体である日本獣医師会、日本動物愛護協会、日本愛玩動物協会、日本動物福祉協会が協働で今後とも飼い主に向けたサービスの連携支援を続けてまいりたい。

## 4 世界獣医師会大会(WVAC)の日本開催に関する件

伏見専務理事から資料に基づき、来年4月に日本で開催される世界獣医師会大会の準備状況について説明された。

世界獣医師会大会については、4月21日午前10時からの開会式で開幕し、「スポーツとワンヘルス」というテーマでの著名アスリート参加スポーツ企画など幅広く計画している。

最新の小動物獣医療の紹介や世界的に著名な愛玩動物看護師の講演、越境感染症や獣医学教育関係など、さまざまな企画を考えている。

1日目の午後に開催される世界獣医師会総会においては、藏内会長が世界獣医師会会長に就任し、2年間の任期が開始される。

3日目には、本会理事で東京都獣医師会の上野会長を中心に、ペットと飼い主の健康をテーマに大規模な企画を計画している。現在、犬の飼育頭数が減っている中、ペットとともに暮らす素晴らしさを改めて認識しあえることを願っている。

## 5 第43回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和7年度)に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき以下が説明された。

令和7年度の獣医学術学会年次大会は、世界獣医師会大会に併せて4月21日から24日までの4日間で行われる。大会1日目に地区学会賞受賞講演、2日目には獣医学術賞の発表と授与を計画している。ぜひ多数の参加をお待ちしている。

令和8年度の大会については、令和9年2月頃に、できるだけ開催経費を抑えるよう工夫しながら開催できるよう調整している。

## 6 日本獣医師会雑誌の電子化に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき以下が説明された。

令和8年1月からの日本獣医師会雑誌の電子ジャーナル化については、スムーズな移行に向けて取り組んでいる。地方獣医師会の皆さまには、会員の電子メールアドレスの収集をお願いしたい。紙媒体で読みたいという方には移行期間を設けたので、引き続き工夫しながら円滑な移行を進めたい。本件は、丁寧に進めつつ、改善点があれば改善するように柔軟に対応したいと考えている。

## 7 農場管理認定獣医師認定試験に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき以下が説明された。

第2回農場管理認定獣医師の認定試験は令和8年1月17日に東京と福岡の2カ所で開催される。今後のスケジュールについて、11月28日までに受講申請、12月19日に受験票送付、1月17日に試験、2月3日に合格発表としているので、要件を満たしている方にはぜひ受けていただきたい。

## 8 特別委員会及び部会委員会に関する件

伏見専務理事から、今期の特別委員会及び部会委員会の構成が紹介された（詳細は本誌第78巻12号523、524ページを参照）。

### 〔連絡事項〕

### 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

伏見専務理事から、当面の主要会議等の開催計画について、資料に基づき説明された。

### 2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

伏見会計責任者から、日本獣医師連盟の活動について報告された。

続いて、村中委員長から以下の説明がなされた。

会計責任者から説明された34項目の要請活動等以外に、月におおむね4、5回のペースでセミナーやパーティーが開催されました。今、政局が大きく変わっている時期であり、自民党総裁選から始まって、総理大臣の指名、一方で本当に予期せぬ公明党の離脱もありました。連盟としても息つく間もないような展開で驚いているところです。幸いにも維新との連立を組んだということで、少し落ち着くのではないかと期待しています。

また、われわれが強く推していた有村治子先生が自民党の四役の一つである総務会長になりました。これは非常に大きなことで、われわれも大変期待しています。

石原慎太郎さんの三男、石原宏高環境大臣は東京品川の選出で、私が東京都獣医師会の会長を15年務めていた間からとても応援しており、個人的にも仲がよい関係です。ついては環境省との関係も良好になるものと思っています。

現在、国会で議論されていることは経済財政が中心で、われわれの課題とするところはなかなか討議されることはないように思います。ただ、政権が代わって1カ月を経て、政局も落ち着いてきているので、これから各省庁を回り、大臣にもご挨拶し、われわれの要請を伝えていきたいと考えています。皮切りとして、12月22日の連盟の四役会の後に関係省庁を回って、要請書を提出してくる予定です。

また、公明党については連立を離脱しましたが、各地方議会ではこれまで長い歴史があります。26年間にわたり公明党は自民党と連立を組んできたわけです。地方の事情によってはこれからも協力体制を取るといったようなご意向もお聞きしております。来週には公明党の議員懇話会がありますので出席してまいります。われわれとしての公明党との関係の在り方などにつきましても、逐次皆さまにご報告できればと思っています。

### 【議長・副議長退任】

中島議長から、すべての議事が終了した旨が告げられ、議長・副議長が降壇した。

### 【日本獣医師会会長特別感謝状の授与】

鳥海副会長から、東北地区理事を平成21年7月1日から平成25年6月27日の連続2期4年、また、副会長を平成25年6月27日から令和7年6月25日の連続6期12年の合計連続8期16年の長きにわたり、日本獣医師会役員として本会の業務の執行に貢献し、獣医師会の発展と組織の円滑な運営に大いに尽力された砂原和文氏、家畜共済職域理事を平成15年7月1日から令和7年6月25日の連続11期22年の長きにわたり、日本獣医師会役員として本会の業務の執行に貢献し、獣医師会の発展と組織の円滑な運営に大いに尽力された横尾彰氏、公衆衛生職域理事を平成27年6月22日から令和7年6月25日の連続5期10年の長きにわたり、日本獣医師会役員として本会の業務の執行に貢献し、獣医師会の発展と組織の円滑な運営に大いに尽力された加地祥文氏に、日本獣医師会会長特別感謝状が授与された。

### 【閉会】

中島議長から閉会の挨拶がなされ、会議を終了した。



鳥海副会長（左から2人目）から会長特別感謝状を授与された砂原顧問（右から2人目）、横尾前理事（一番右）、加地前理事（一番左）